

2017年度 学位授与の方針（学生が身に付けるべき資質・能力の目標）に照らした学修成果に関する検証

FD委員会

マイステップ・リエゾンポートフォリオ「学修成果の把握（学科／研究科専攻の学位授与の方針）」のデータを活用した検証です。

学科の学位授与の方針（学生が身に付けるべき資質・能力の目標）については、本学ホームページの「教育方針」（下記のURL）をご覧ください。

<https://www.tfu.ac.jp/aboutus/policy/index.html>

学科・研究科専攻	検証の結果
社会福祉学科	<p>・ディプロマポリシーについて</p> <p>社会福祉学科「学生が身に付けるべき資質・能力の目標」に示された「学びと行のための知識・理解」（「さまざまな環境下にある人びとの生活や社会で起きている現象に関心を持つことができる」「さまざまな環境下にある人びとの生活状況、それらを取りまく社会構造、身体・心理的特徴、かれらへの関わり方等にどのようなものがあるかを理解できる」「さまざまな環境下にある人びとの福祉的課題について、アセスメントできる」「自らの関心や適性をふまえて、(2)(3)のなかでも特にどのようなアプローチで対象者の生活状況または社会をより良くすることができるかについて理解できる」「(4)のアプローチについて、専門的知識を身に付けた自信がある」）、</p> <p>「学びと行のための技能・技術」（「特定の課題について必要な情報を収集・整理・分析・考察し、文章化する（レポートまたはプレゼンテーションにまとめる）ことができる」「(1)をICT（情報コミュニケーション技術）を用いて発表することができる」「他者の発表や意見に関心をもって最後まで聞くことができる」「他者の発表などに対して質問や発言をすることができる」「他者の発言を促したり自制を促すなどして全体の議論を調整することができる」）について、その習得度を5段階評定で学生からの回答を得て、1～5点へと得点化した。</p> <p>・分析対象について</p> <p>分析対象は、1年生195名（回答率：41.0%）、2年生62名（15.0%）、3年生39名（8.8%）、4年生72名（19.1%）であった。</p> <p>・平均点及び検証結果について</p> <p>「学びと行のための知識・理解」、「学びと行のための技能・技術」に含まれる項目の平均点をそれぞれ図1、図2に示す。</p> <p>「知識・理解」については、項目(1)のみ入学時から4年次にかけて平均点が徐々に伸びており、2年生で3を超えていた。(2)(3)(4)については4年生までの間に平均点が徐々に高くなっているものの、3を超えることはなかった。</p> <p>「技能・技術」については、全項目で入学時から徐々に得点が高くなり、3年生の平均点が3を超え、4年生の平均点とほぼ同じか若干低くなっていた。</p> <p>「知識・理解」、「技能・技術」ともに4年生までの間に伸びを示していた。「知識・理解」の自由記述において、能動的な学び、コミュニケーション力、専門的知識・技術や福祉職についての関心の高まり、実習における自己成長、専門職につくにあたっての抱負などが記述されていた。また、「技能・技術」の自由記述においては、自己成長感を感じつつも、もっとできるのではないかといた内</p>

容が書かれてもいた。これらの結果から、評価点が低い項目はあるものの学生は成長を意識しており、ディプロマポリシーに基づく学生の成長が認められたと考えられる。

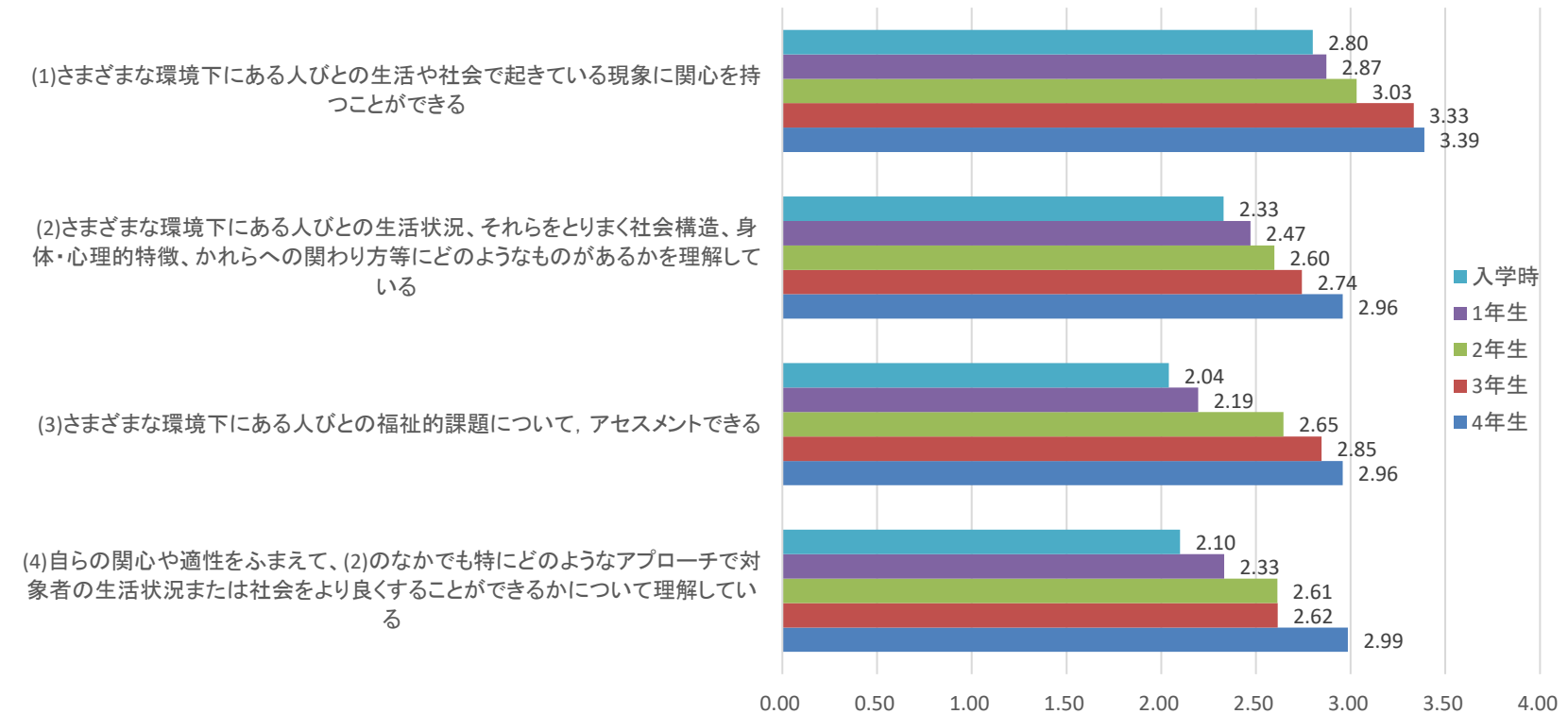


図1 知識・理解に含まれる項目の学年別平均点

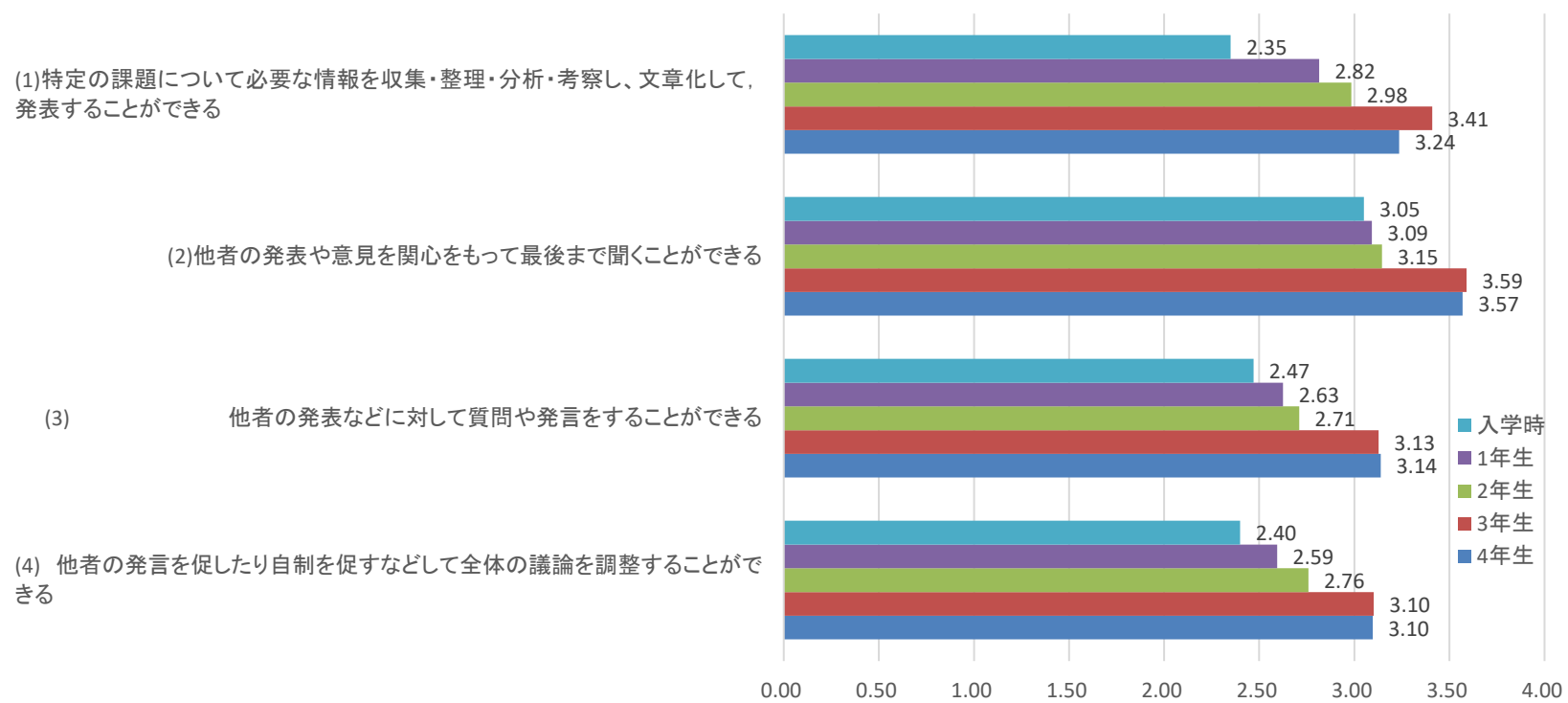


図2 技能・技術に含まれる項目の学年別平均点